

# 中元祝酒の記

福沢諭吉

青空文庫



『西洋事情外篇』の初巻にいえることあり。「人もしその天与の才力を活用するにあたりて、心身の自由を得ざれば、才力ともに用をなさず。ゆえに世界中、なんらの国を論ぜず、なんらの人種たるを問わず、人々にんにん自からその身体を自由にするは天道の法則なり。すなわち人はその人の人にして、なお天下は天下の天下なりというが如し。その生るるや、束縛せらるることなく、天より付与せられたる自主・自由の通義は、売るべからずまた買うべからず、人としてその行いを正しゆうし、他の妨をなすに非ざれば」  
云々うんぬんと。

春しゅんらい来、国事多端、ついに干戈かんかを動かすにいたり、帷幄いあくの士

は内に焦慮し、干役かんえきの兵は外に曝骨ばつこつし、人情にんじょう恟きょう々きょう、  
ひいて今日けふにいたる。ここにおいてか世の士君子、あるいは筆を  
投じて戎じゅうけん軒けんを事とするあり、あるいは一書生たるを倦うみて百  
夫の長たらんとするあり、あるいは農を廢して兵たる者あり、商  
を転じて士たる者あり、士を去りて商を営む者あり。事緒紛紜じしよぶんぬん、  
物論ぶつろん喋々ちようちよう、また文事をかえりみるに違いとまあらず。ああ、これ、  
革命の世に遁のがるべからざるの事変なるべきのみ。

この際にあたりて、ひとり我が義塾同社の士、固く旧物を守り  
て志業を変ぜず、その好むところの書を読み、その尊ぶところの  
道を修め、日夜ここに講究し、起居常時に異なることなし。もつ  
て悠然、世と相あいおりて、遠近内外の新聞の如きもこれを聞くを好

まず、ただ自から信じ自から楽しみ、その道を達するに汲々きゆうきゆう

たれば、人またこれに告ぐるに新聞をもつてする者少なく、世間の情態、また何様なにようたるを知らず、社中自からこの塾を評して天下の一桃源と称し、その景況、まつたく世と相反するに似たり。

然りといえども、よく事理つまびらかにを詳し、そのよるところ、その安ん

ずるところを視察せば、人おのおのその才に所長しよちようあり、その

志に所好しよこうあり、所好は必ず長じ、所長は必ず好む。今天下の士

君子、もつばら世事せいじに鞅おうしやう掌し、干城かんじやうの業わざを事とするも、

あるいは止むをえざるに出ずるといえども、おのずからその所長所好なからざるをえず。ゆえにかの士君子も、天与の自由を得て、その素志を施すものというべし。また我が党の士、幽窓の下にお

りて、秋夜月光に講究すること、旧日に異なることなきを得て、修心開知の道を楽しみ、私に濟世さいせいの一斑を達するは、あにまた天与の自由を得るものといわざるべけんや。

しから然ばすなわち我が輩の所業、その形は世情と相反するに似たりといえども、その実はともに天道の法則にしたがいて天賦の才力を用ゆるの外ならざれば、此彼の間かん、毫も相あ戻ることなし。前日の事、すでにすでにかくの如し、後日の事、またまさにかくの如くなるべければ、我が党の士、自から阿おもらず、自から曲げず、己おのれに誇ることなく、人を卑いやむことなく、夙夜業しゆくやを勉めて、天の我にあたうるところのものを慢まんにすることなくんば、あにただ社中よろこびの慶のみならん。そもそも天の此文しぶんを喪ほろぼさざるの深意なるべし。

本日たまたま中元、同社、手てずから酒肴しゅこうを調理し、一杯をあげて、  
文運の地におちぎるを祝す。

慶応四年 戊つちのえ辰たつ 七月

慶応義塾同社 誌しるす



# 青空文庫情報

底本：「福沢諭吉教育論集」岩波文庫、岩波書店

1991（平成3）年3月18日第1刷発行

底本の親本：「福沢諭吉選集 第3巻」岩波書店

1980（昭和55）年12月18日第1刷発行

入力：田中哲郎

校正：noriko saito

2007年8月16日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www>

W.aozora.gr.jp) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランテイアの皆さんです。

# 中元祝酒の記

## 福沢諭吉

2020年 7月13日 初版

### 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>